

膿胸の手術を受けられる患者さんへ

月/日	/	/
経過	手術前日	手術当日（手術前）
達成目標	・手術治療の必要性を理解している	・手術治療の必要性を理解している
治療 処置 薬剤	21時に安定剤を内服します 	・点滴を開始します（点滴は手術後まで続きます） ・手術開始時に感染管理の観点から抗菌薬を投与します  ・手術衣へ着替え、弾性ストッキングを着用します 
検査		
活動 安静度		
食事	21時以降絶飲食です 	絶飲食です 
清潔	清拭 	本日は清拭・シャワー浴等は施行できません
排泄		手術室へ移動する前に排尿を済ませておいてください 
説明	・主治医より手術の説明を行います ・麻酔科医、手術室・HCUの看護師が訪問に伺います ※HCU…高度で緊急を要する医療を行うための病室 ・手術後に必要な物品の説明を行います ・必要時は適宜リハビリを行います ・21時以降は絶飲食となります ・男性の方は髭を剃ってください ・女性の方は化粧・マニキュア等は落としてください	・時計・義歯・指輪・コンタクトレンズ・ウィッグ・湿布等、取り外せるものは全て取り外してください ・整髪料やボディークリーム・乳液・化粧品等は使用しないでください

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるものであり、症状・経過によって異なります

D2_1015 2025年1月クリニカルパス委員会承認

膿胸の手術を受けられる患者さんへ

月/日	/	/
経過	手術当日（手術後）	術後 1 日目
達成目標	・呼吸状態・全身状態が安定している ・手術後、出血が見られない / 排液に問題が無い ・痛みを訴える事ができる	・呼吸状態・全身状態が安定している ・手術後、出血が見られない / 排液に問題が無い ・鎮痛処置により痛みの緩和ができる
治療 処置 薬剤	・手術後も抗菌薬等の点滴が続きます ・必要時酸素吸入を行ったり、心電図モニターを装着します（医師の指示で中止します） ・胸（創部）に管が入っています ・必要時、胸にバンドを装着します	・食事の量に応じて、点滴を終了します ・医師の診察後、許可があれば心電図・酸素を終了します ・痛み止め、胃薬、痰を出しやすくする薬の定期内服が始まります（3日間の予定です。状態次第で延長する事があります） ・痰を出しやすくするため薬剤の吸入を行います
検査	術中のレントゲン撮影があります。	採血・胸部レントゲンがあります  
活動 安静度	ベッド上安静です 	医師の許可後、歩行できます 
食事	絶飲食です 	医師の診察後許可があれば、昼より軟菜食、夕より手術前の食事に戻ります
清潔		看護師が清拭を行います 
排泄	尿を出す管が入っています	歩行が可能になれば、尿を出す管を外します 管が外れた後は、トイレ歩行可です
説明	手術後はHCUへ入室します	術後の状態に応じて術翌日以降にHCUの退室を検討します。 ・胸（創部）の管が抜けるまでは、機械が乗った台を持って移動となります十分注意して歩行してください ※不明な点がありましたら、医師・看護師へお尋ねください

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるものであり、症状・経過によって異なります

D2_1015 2025年1月クリニカルパス委員会承認

膿胸の手術を受けられる患者さんへ

月/日	/	/	/	/
経過	術後2日目		術後3～4日目	
達成目標	・手術後排液に問題が無い ・手術部位の浸出液がない ・疼痛時の対処ができる		・手術後排液に問題が無い ・手術部位の浸出液がない ・疼痛時の対処ができる	
治療 処置 薬剤	・経過に応じて点滴は終了です ・痰を出しやすくするため 薬剤の吸入を行います		・背中・胸中の痛み留めの管を抜きます ・胸（創部）の管を抜きます （創部は専用のテープを貼ります） ・吸入は医師の指示があるまで施行します	
検査	術後、適宜画像撮影や検査を行ないます			
活動 安静度	胸（創部）の管が抜けたら制限はありません		胸（創部）の管が抜けたら制限はありません	
食事	制限はありません			
清潔	看護師が清拭を行います		胸（創部）の管が抜けたらシャワー浴が可能です	
排泄	制限はありません			
説明			・傷口のテープは次回外来受診の際に除去し、 抜糸等行います ・退院後に剥がれたらそのままかまいません。（傷口から液が染みるときは外来受診してください） ・次回外来受診時に入浴が可能か医師へ確認してください	

※入院期間や治療内容は現時点で予測されるものであり、症状・経過によって異なります

D2_1015 2025年1月クリニカルパス委員会承認